

令和5年度 第1回 函館市高齢者計画策定推進委員会 会議概要

■ 日 時

令和5年8月7日（月） 18時30分～19時50分

■ 場 所

市役所本庁舎8階大会議室

■ 議 事

- (1) 高齢者計画策定推進委員会の設置について
- (2) 正副会長の選任について
- (3) 第10次函館市高齢者保健福祉計画・第9期函館市介護保険事業計画の策定について

■ 配付資料

- ・資料1 函館市高齢者計画策定推進委員会設置要綱
- ・資料2 計画策定にあたって
- ・資料3 介護保険制度の見直し等について
- ・資料4 次期計画の策定に向けた今後の流れについて
- ・資料5 函館市高齢者計画策定推進委員会の開催スケジュール（予定）

■ 出席委員（13名）

朝倉委員，池田委員，内山委員，大住委員，大槻委員，大日向委員，小倉委員，北村委員，久保田委員，齋藤委員，鈴木委員（川村氏代理出席），常野委員，山田委員

■ 欠席委員（2名）

三田委員，能川委員

■ 傍 聴 0名

■ 報道機関 1社（函館新聞社）

■ 事務局職員

保健福祉部

佐藤部長，原次長

地域包括ケア推進課 小棚木課長，石岡主査，畠山主査，田畑主事

介護保険課 佐藤課長

高齢福祉課 黒田課長

■ 会議録（要旨）

石岡主査（地域包括ケア推進課 企画・管理担当）

開催にあたり保健福祉部長の佐藤から、ご挨拶申し上げます。

（佐藤部長 挨拶）

次に委員の皆様と、事務局の職員を紹介させていただく。

（委員と職員を順に紹介）

石岡主査（地域包括ケア推進課 企画・管理担当）

（資料1「函館市高齢者計画策定推進委員会設置要綱」に基づき説明）

委員会設置要綱第4条第2項の規定により、会長は委員の互選により定めることとなっているが、いかがか。

事務局案としては、長年、福祉教育に取り組まれている函館大妻高等学校校長の池田委員にお願いしたいが、いかがか。

（異議なし）

異議がないようなので、会長は池田委員に決定する。

池田委員には、会長席へお移りいただき、一言ご挨拶を頂戴したい。

（池田会長挨拶）

続いて、委員会設置要綱第4条第3項の規定により、副会長は会長が指名することとなっているので、会長から指名をお願いしたい。

池田会長

それでは、地域福祉の推進に深く関わっておられる、函館市社会福祉協議会会長の大槻委員にお願いしたいと思うがいかがか。

（異議なし）

石岡主査（地域包括ケア推進課 企画・管理担当）

ご指名があったので、副会長を大槻委員に決定する。

大槻委員には、副会長席へお移りいただき、一言ご挨拶を頂戴したい。

(大槻副会長挨拶)

これからの委員会の議事進行については、会長を議長として進めていただくことをお願いしたい。

池田会長

それでは議事の3の(3)、第10次函館市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画の策定について、事務局から説明願いたい。

石岡主査(地域包括ケア推進課 企画・管理担当)

(資料2「計画策定にあたって」および資料3「介護保険制度の見直し等について」に基づき説明)

※説明要旨

- ・ 次期計画は、本年5月に公布された、「全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律」により改正された介護保険法に基づき、各種調査等を踏まえたうえで、前計画の取組を基礎としながら、中長期的な人口動態や介護ニーズを見据えた介護サービス基盤の整備をはじめ、地域包括ケアシステムの深化・推進や、介護人材確保と介護現場の生産性向上等を推進するものとし策定してまいりたい。
- ・ 今後は介護ニーズが高い75歳以上、さらに先を見据えると85歳以上の人口割合が増加していく一方で、介護の担い手となる生産年齢人口は急減する見通しである。
- ・ ただし、高齢化の進み方は、どの地域も一様に進むものではなく、既に高齢化が進み、今後は緩やかに進むことが見込まれる地域もあれば、大都市部など急速に進むことが見込まれる地域もある。
- ・ このため、次期計画の策定に向け国が定める基本指針については、中長期的な地域の高齢化の状況や生産年齢人口の状況、足元の施設や事業所の状況など、地域の特性に応じた計画を定めていくことを基本的な考え方とし、介護サービス基盤の計画的な整備などの3項目を大きな柱に据えている。
- ・ 法改正に関しては、資料3の8ページにある5項目となるが、このうち市に直接関係するものは「介護情報基盤の整備」、「看護小規模多機能型居宅介護のサービス内容の明確化」、「地域包括支援センターの体制整備」の3項目である。

池田会長

次期計画策定にあたり、これからどのような方向で進めるのか、また、厚生労働省の考え方について説明があったが、ただいまの説明に対し、何か質問はあるか。

齋藤委員いかがか。

齋藤委員

意見として考えていたことが、資料2に書かれていた。3ページ目の1番下のエの部分「介護保険施設等需給状況調査(仮)今後実施予定」についてである。

私の施設の話だけではなく、老協として、いろいろな事業所の意見を聞く機会が多くあるが、新型コロナウイルス感染症が5類に移行した辺りで、かなり需給のバランスが崩れてきていると感じている。

医療依存度が高いと思われる利用者の多くが、介護側に流れてきており、介護事業所のスタッフがすべてを受け止めきれない状態が見受けられる。どういうことかと言うと、在宅の利用者だと入院、特養も同様に入所後直ぐに入院してしまうことが増えた。

このため、特養の稼働率は、かなり下がってきている。

介護職員が不足し、受入れ可能な利用者の数を減らさざるを得ないという要因もあるが、そこに医療依存度が高い方、例えば、暑い時期では、尿路感染症や誤嚥性肺炎などによる入院が増加するが、さらに新型コロナウイルス感染症が稼働率の悪化に影響しているという印象を受けている。待機者は、実際に少なくなっているとの話は聞いているものの、数値化したデータがないことから、函館市には引き続き施設の現状を詳細に調査していただきたいと思っていたところである。

池田会長

新型コロナウイルス感染症後の現実についてお話いただいた。

今後行う需給状況調査によって数字がはっきりしてくるので、ぜひ実施していただきたい。

その他、函館市として、このようなことをやってはいかかという意見などはないか。

常野委員いかがか。

常野委員

私も大枠としての意見は、皆さんと考えていきたいと思うところである。

今の説明資料は、国の情報に基づいたもので、テーマとしているのが2025年と2040年、団塊の世代が75歳以上になる年と団塊ジュニア世代が高齢者になる年になっているが、実は函館市は全国より10年、15年早く高齢化と生産年齢人口の減少が進んでいる。

私はいろいろな所で話をするが、函館の高齢化と生産年齢人口の現状は、全国の2035年頃に見込まれる状況に近く、計画の策定にあたっては、国の指針に沿ってはもちろんであるが、函館市の独自性、函館市の現状に即した計画が必要になってくると思う。その点も踏まえながら皆様と考えていければと思っている。

池田会長

かなり昔の話になるが、市の高齢者に対する計画があまり無かった頃は、保健所で協議していたことがあった。

その後、市の福祉部局が加わり、高齢者施策を計画に組み入れる際には、函館市独自のものを加えていくべきというのが我々の意見だった。ところが、国からの予算がないなかで、市独自でどこまでできるかと言えばなかなか難しい。そのようななかで、「高齢者など」とし、もっと広く福祉を考えていくべきとの話などがでてきて結局まとまらなかった。

そのなかで、常野委員が言ったとおり、函館市独自のものを少しでも入れていくことも視野に入れながら進めていければと思う。どのように工夫し取り入れていくのかが、これからは大切になると思う。

これまでも、そういったことを視野に入れながら協議してきたつもりであるが、大きく外れた形で函館市独自のものを組み入れることは、少々この場にはそぐわないかと思うので、そこだけは念押ししたいと思う。

池田会長

全体を通して何か意見はあるか。

なければ、次の項目に入りたい。続きを事務局からお願いしたい。

石岡主査（地域包括ケア推進課 企画・管理担当）

（資料4「次期計画の策定に向けた今後の流れについて」、資料5「函館市高齢者計画策定推進委員会の開催スケジュール（予定）」に基づき説明）

※説明要旨

- ・ 次期計画の策定にあたっての今後の流れについては、次回以降の委員会で、市の人口・世帯、要介護認定率のほか、各種調査から得られた高齢者本人や家族の介護の状況、介護サービス基盤などから得た本市をとりまく状況の把握・分析を踏まえ、市が取り組むべき課題を整理していきたい。
- ・ また、理念については、平成6年のいきいき長寿都市宣言の趣旨を現計画までの基本理念としてきたが、宣言から28年が経過し、社会情勢や時代背景などが変化していることから、現計画の理念を踏まえつつ見直しを図りたい。
- ・ 方針や施策の設定にあたっては、整理した課題、制度改正の方向性、理念の目指す姿に留意し進めてまいりたい。

池田会長

基本理念について社会情勢の変化などから見直しを図りたいとの説明であったが、基本理念に基づいて方針や計画策定をすることになることから、ある程度決めておかなければならない。

基本理念の見直しについて異議はあるか。

（異議なし）

基本理念の見直しについては皆さん賛同いただいたということでよろしいか。それに基づき原案を作成することになるかと思う。よろしくお願いしたい。そのほか、全体を通して何か意見はあるか。

（特に無し）

それでは、これで終了したいと思う。

石岡主査（地域包括ケア推進課 企画・管理担当）

それでは以上をもって、令和5年度第1回目の委員会を終了する。